

1 調査結果

(1) 島田市・空港関連振興策

(ア) 空港周辺の社会基盤整備

空港隣接地域にアクセスの改善及び地域の方の生活環境改善のために道路整備をしている。又、空港へのアクセス道路等大規模な道路は静岡県が、主に地域の方の利用する小規模な道路は市で担当している。

(イ) 空港周辺の治水対策

河川（水路・排水路含む）の整備については2級河川であるの一部についても県がその他小模な河川は市が整備している。

(ウ) 「空港ティーガーデンシティ構想」の推進

静岡空港の更なる魅力向上を目指し県が大学教授等からなる有識者会議と空港地元自治体の首長及び地元住民による検討会を経て作成した構想で、島田市ではその構想推進のためのスタンプラリーやウォクラリー等の事業を実施した。

(エ) 空港周辺地域づくり構想「プロジェクト島田」の推進

市民と市職員によりまとめられた「空港周辺地域づくり検討プロジェクト報告書」を基礎に空港を活かしたまちづくりで明日を拓くための「空港周辺地域づくり構想プロジェクト」を推進している

(オ) 農業振興

空港やアクセス道路建設のための地権者の方々から茶畑をはじめとする多くの農地を提供されているが、市の基幹産業であるお茶の農業を守りより発展していくために新たな農地の造成や既存農地の機械化を進め更にお茶文化を発信する施設として博物館や茶室を備えた「お茶の郷」を整備した

(2) 静岡空港

- | | |
|-----------|------------------|
| (ア) 名称 | 静岡空港（愛称・富士山静岡空港） |
| (イ) 設置管理者 | 静岡県 |
| (ウ) 位置 | 牧之原市・島田市 |
| (エ) 開港日 | 平成21年6月4日 |
| (オ) 滑走路 | 2,500m |
| (カ) 運行時間 | 7時から22時まで |
| (キ) 駐車場 | 2,000台 |

(ク) 開港までの経過

1987年（昭和62年）静岡県知事により島田市、旧榛原郡榛原町（牧之原市）への空港建設が決定された。1996年運輸大臣による設置許可を得て、整備が開始された。

2009年（平成21年）3月開港予定だったが、空港近隣にある伐採対象外の樹木が航空法の制限（制限表面）に抵触する問題があることが2008年9月に判明し翌10月、暫定的に滑走路を短くする工事を行うことが決まった。そのため、延期されることが県より公式に発表され、2009年（平成21年）6月4日に開港。なお、2,500メートルへの延長工事は8月27日に完成

総事業費は約1,900億円、そのうち空港本体の事業費は約490億円。空港整備特別会計からの国庫補助金は約245億円であり、約1,655億円が静岡県の支出である。地方空港が過剰となっているため、日本国政府が離島以外の地方空港新設を抑制する方針を打ち出したことから「最後の地方空港」と呼ばれたこともある。

(ケ) 国際線について（手続き）

検疫 海外で体調を崩された方は検疫手続きを行う。機内で健康に関する質問表が配布された場合、必要事項を記入し、検疫カウンターへ提出する。

入国審査 パスポートをご用意の上、日本人・再入国・外国人それぞれの表示があるカウンターへ進み、入（帰）国手続きを行う。外国人の方については、入国カードが必要となる。（パスポートのカバーは外して提示）

手荷物受け取り 手荷物受取場（バゲージクレームエリア）にて受託手荷物を受け取り、手荷物が搬出されるベルト番号は近くの表示盤にて航空会社、便名を確認する。自分の手荷物が搬出されないときや手荷物が破損しているときは、お手元の手荷物タグを航空会社スタッフに相談する。

動物検疫・植物検疫 出発国や地域によって、肉類、果物、動物、植物等を日本国内に持ち込まれる場合は手荷物受け取り後に輸入検査が必要である。

(コ) 就航状況について（H30・3・10時点）

国内線 6路線、週63往復 **国際線** 5路線、週22便であり、国際線の就航は、2014年（平成26年）7月末の時点で3路線週13便だったのが、2015年（平成27年）7月末時点では13路線週47便と大增した。特に県からの多大な補助金注入などのため、中華人民共和国からの国際線が多く就航しており、2015年7月以後も、チャーター便の増発や新規就航が検討されている。

国際線ターミナルの搭乗待合室は約 200 席しかなく、もともと小さかった空港ターミナルビルは、訪日外国人旅行で大変混雑し、国内線の待合室を一部使うなどして対応に追われていたが、現在ターミナルビルの増築工事中であり 2018 年完成予定（視察時改修中であった）

(サ) その他

静岡空港は比較的自由に新規航路を開けたこと、東京・京都・大阪の中間に位置していること、就航から一年間着陸料無料や、チャーター1 便 100 万円の補助、空港施設使用料のほか宣伝広告費に至るまで、さまざまな県からの補助金の対応によって、中国系航空会社から人気の空港である。

2 所感

(1) 島田市 空港周辺振興策について

騒音問題もあると思われるなか周辺地域の理解を得るために多くの振興策を実施していることが印象的でした。その中でも空港の利活用促進については、島田市では静岡空港を利用し多くの方に島田市 に来ていただくために又、多くの島田市民に就航先に出かけていただくために、様々な取組を行っていることが素晴らしいと感じた。

富士山静岡空港利活用検討会議（島田市役所内の空港に関連する 11 の部署からなる庁内検討会議）で対応し、各部署が効率的に事業を実施できるように情報を共有する場としていました。又、空港が開港した効果を数量的に確認するために市内観光施設等で開港効果調査を実施していた。

(2) 静岡空港について

地方空港は多くの空港で収支が厳しい状況であり一般的に地方財政に対しても多くの負担を強いていると言われている中、地方空港が新たな地域活性化の核 として機能している空港もあり静岡空港も活性化に向けた取り組みが行われていると感じた。

今後、長期的には人口減少が不可避である我が国において、交流人口を増加させることで地域の経済活動を活性化することが必要であると思われる。このようなことから、空港のある地方自治体は 内外航空会社への誘致活動を通じて、就航路線の拡大を目指ことも必要ではないかと感じた。